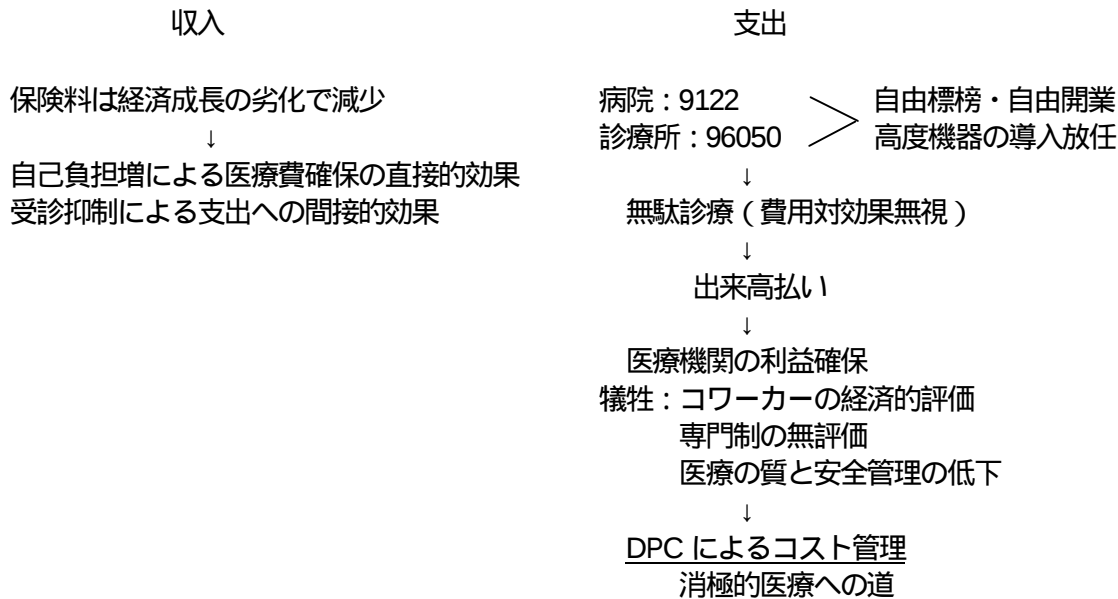


日本の健康保険制度の崩壊



数値資料：厚生労働省統計情報部「平成 15 年医療施設調査」より

医師賠償責任保険制度

ー2004 年度改訂に見る米国型補償の危険性ー

- 保険料水準の高騰
 - * 200床以下 据え置き、200床以上 35%、300床以上 40%、500床以上 45%とベッド数による差別化＝事故特性と病院の定義
 - * 損害率＝支払保険料／過去5年間の修正保険料（割増適用前）
 - * 勤務医に限定的に保険請求、発生時期から賠償請求時の契約で支払

個人加入の推奨・事故回避の必須化を図りつつ、病院には安全管理費の増大を余儀なくする

- 事故は必ず起こる
- 無事故割引制度
 - * 200床以上の病院で5年間支払・未払い保険金のない場合20%割引

事故の開示と根本原因分析して即事対応するより、隠蔽・否定して“保険を使用しない”ほうが負担軽減になる

- 顕在化すれば仕方なし

医療事故の日本式ADR

